

第2回中日本ライフセービング選手権大会 チーム参加募集要項

中日本2015

チーム1次要項

第2回中日本ライフセービング選手権大会
実行委員会

- 日程会場 9月6日(日) 午後より 静波海岸(静岡県)
- 主催 特定非営利活動法人 日本ライフセービング協会
- 主管 特定非営利活動法人 日本ライフセービング協会 中部支部
- 後援 調整中
- 協力 調整中
- 競技種目 **[チーム種目のみ]**

- 01 レスキューチューブレスキュー(女子4名1チーム)
- 02 レスキューチューブレスキュー(男子4名1チーム)
- 03 ボードレスキュー(女子のみで2名1チーム)
- 04 ボードレスキュー(男子のみで2名1チーム)
- 05 ビーチリレー(女子のみで4名1チーム)
- 06 ビーチリレー(男子のみで4名1チーム)

◇各チームから1チームのみのエントリーとします。

◇第41回全日本ライフセービング選手権大会 中部地区予選会に参加するチーム(選手のみエントリー可能です。(予選会に含まれます)

■競技規則 競技規則2014年版に則って実施します。

■タイムテーブル

9月6日(日)の午後開始を予定しております。

詳細は、エントリー集計後、2次要項でお知らせいたします。

■得点と表彰

各競技上位1~8位を入賞とします。1~3位は表彰式で表彰します。また、チーム総合得点により、上位1~8位を入賞とし、1~3位は表彰状を授与し表彰式で表彰します。

決勝の結果に対して得点を加算し、同種目に同じチームの選手が入賞した場合も以下の通り得点が加算されます。ブロッキングシステムは採用しません。配点は以下の通りです。

1位-8点、2位-7点、3位-6点、4位-5点、5位-4点、6位-3点、7位-2点、8位-1点

1. チームの総合得点が同点の場合は、1位の種目の多いチームを、1位の種目が同数の場合は、2位の種目の多いチームを・・・というように総合順位を決定します。
2. 決勝で失格の場合は0点とします。
3. 総合順位は、実施種目の70%以上の最終競技結果をもって成立するものとします。

■外国人選手(日本国以外に国籍を持つ者)の出場登録について(詳細別紙参照)

以下の条件を満たす外国人選手は国内クラブの一員として1クラブにつき2名まで出場登録を認めます。

- (1) 大会参加規定に準じていること
- (2) ILSに加盟している出身国代表組織の承認書を提出すること
- (3) 国内出場クラブ長の承諾書を提出すること ※ホームページに掲載

※原則として、(2)(3)の書類提出期限は、参加申込と同様とさせていただきます。

■参加費

◇1種目につき2,000円とします。

例: 1種目=2,000円 2種目=4,000円 …… 6種目=12,000円

◇申込締切後であっても、エントリーミスによる出場種目の変更が可能です。

但し、8月6日(木)申込締切時に、全日本選手権中部地区予選会にエントリーされている(選手登録している)方のみ対象とし、新たな選手のエントリーは認められません。

また、変更手数料として、1つの変更につき、3,000円の手数料を頂戴いたします。振込先は参加費と同様の口座です。期限内に必ず振込下さい。

期限内に変更手数料の振込のない場合は、変更を受付ません。

例： 種目を1つ変更＝＋3,000円 種目を2つ変更＝＋6,000円

◇ご入金は、中部地区予選会の入金額と併せ、合計額で振込下さい。

■宿泊/食事

中部地区予選会の1次要項に従ってご手配下さい。

■代表者会議

競技上の注意事項や大会に関わることについて説明をする代表者会議を開催します。詳細につきましては2次要項でご案内します。チーム代表者は必ずご出席ください。なお、やむを得ずチーム代表者が出席できない場合は、参加選手で代表者に準ずる方の出席をお願いします。

■申込締切日

提出方法提出書類等の概要		提出方法	提出期限(締切)
書類関係	①選手申込用紙(A・C) エントリーエクセルデータ	メール提出	2015年8月6日(木)24:00受信分まで
	②(希望者のみ) エントリーミスによる出場種目の変更の申込エクセルデータ	メール提出	2015年8月14日(金)事務局からのエントリーリストのメール受信時～8月20日(木)24:00受信分
費用関係	⑤参加費の振込	「大会エントリーの手引き」、参加費の振込をご参照の上、手続き下さい	2015年8月6日(木)当日消印有効
	⑥(エントリーミスによる出場種目の変更希望者のみ) 変更手数料	参加費の振込先と同様の口座	2015年8月20日(木)当日消印有効

注) ※締切りを過ぎたものや書類の不備、上記の提出書類が揃っていない場合は、受け付けませんので、ご了承ください。
※参加規定を満たしていない場合、参加費の未納等により、大会参加を受け付けない場合がありますのでご注意ください。

■提出先および提出内容

□メール提出先； compe@jla.gr.jp

①選手申込用紙(A・C)のエントリーエクセルデータ

□郵送提出先； JLA事務局

①(該当する場合のみ)外国人選手出場登録

■ラッシュガードの着用について

公式競技会におけるオーシャン競技・サーフ種目におけるラッシュベストの着用は義務となります。ラッシュベストの着用なしでの参加は認められません。

【お問い合わせ先】

特定非営利活動法人 日本ライフセービング協会

〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-18 トップスビル1F

TEL: 03(3459)1445 / FAX: 03(3459)1446

(お問い合わせ時間 平日9:00-18:00 ※土日祝日は除く)

第2回中日本ライフセービング選手権大会 参加規定

1 参加資格

競技者の参加資格は下記の3点を共に満たしている者、若しくは本協会が特別に参加を認めた者でなければならない。

- 1-1 競技者は、大会初日当日満15歳以上でなければならない。但し中学生を除く。
- 1-2 競技者は、ライフセービング活動を志し、出場する競技会の過去1年以内に海岸やプール等水辺での監視・救助活動、協会が認める教育活動に25時間以上従事した者でなければならない。
- 1-3 競技者は、本協会の個人正会員、個人一般会員、もしくは個人高校生会員として登録されていなければならない（申請中も含む）。

2 チーム構成

- 2-1 チームは、本協会の団体正会員、若しくは団体一般会員として登録され、本協会に登録されている団体名で出場しなければならない。また、1団体からの出場は1チームとする。
- 2-2 チームは、同じクラブに所属する競技者により構成されていなければならない。

3 チーム名

参加チーム名は団体正会員もしくは団体一般会員名とする。

4 出場登録

- 4-1 参加選手は、中部地区予選会にエントリーされている選手・チームであること。また、あらかじめ所定の用紙を用い出場種目を登録しなければならない。
- 4-2 登録種目数に限りはございません。但し、1種目につき、各チーム1チームのみとします。

5 チーム代表者

- 5-1 各参加チームはチームを代表する者としてチーム代表者を1名おこななければならない。なお、チーム代表者と選手はこれを兼任することができる。

6 チームユニフォーム及び競技中の衣類

- 6-1 各チームは、式典や表彰式および競技に適したユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードを持たなければならない。
- 6-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる競技者も競技に参加することができない。
- 6-3 キャップは、競技会の前に本協会にチームキャップ申請および登録されていなければならない。
※キャップ登録は、すでに登録を済ませ変更がない場合は必要ない。まだ登録をしていないクラブは申し込みの期限までに別紙チームキャップ申請書および登録書を届出しなければならない。
- 6-4 キャップは、競技者の識別や判定のために重要であるため、スタート前に紐をあごの下で留めて競技者の頭に着用しなければならない。スタートの後に、キャップがとれたり、失ったりした場合、違反なしに競技が終了できていれば失格とはならない。
- 6-5 チームのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合その対応は主催団体の指示に従わなければならない。

7 表彰

- 7-1 日本ライフセービング協会理事長杯
ライフセービングチーム最優秀の証として総合優勝チームに贈られる。表彰は、閉会式にて行う。
- 7-2 種目別表彰
各競技上位1～8位を入賞とし、1～3位には記念品を授与する。

8 参加費

- 8-1 参加費は、1種目につき2,000円とする
- 8-2 参加費は、参加申し込みの締切日までに支払わなければならない。
- 8-3 参加申込締切後の出場登録の取り消し、天候その他の理由により、大会のタイムスケジュール変更や、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還されない。

- 8-4 参加者が欠場、あるいは失格となった場合でも参加費は返還されない。
- 8-5 変更手数料（申込に過誤があった場合の、出場登録（申込締切）後の「出場種目の変更」の手数料）は、1つの変更につき、3,000円とする。
- 8-6 変更手数料は、あらかじめ指定された期日までに支払わなければならない。
- 8-7 出場種目の変更申込後に、出場登録の取り消し、天候その他の理由により、大会のタイムスケジュール変更や、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還されない。
- 8-8 参加選手が欠場、あるいは失格となった場合でも、変更手数料は返還されない。

9 競技器材

- 9-1 競技で使用する器材はライフセービング競技規則 2014年版「第7章競技器材の規格」の基準を満たさなければならない。
- 9-2 オーシャン競技で使用するレスキューチューブは、主催団体が用意するものとする。
- 9-3 主催団体は、競技者の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。競技器材が基準を満たしていない場合は、その競技者はその器材を使用できないか、または失格となる。
- 9-4 競技者は、主催団体から競技器材にステッカー等の標示を添付する指示があった場合は、それに従わなければならない。

10 競技規則

- 10-1 この他の競技規則は「ライフセービング競技規則（2014年版）」に則って行う。

11 審判員の選出

- 11-1 任意に審判員を選出することができる。
- 11-2 参加する審判員は、「審判員・スタッフ参加申込書」に必要事項を記入し締切までに申し込むこと。
- 11-3 2名以上選出するチームは「審判員・スタッフ参加申込書」をコピーして提出すること。
- 11-4 選出する審判員は、C級認定審判員資格以上を保持し、選手として登録していないこと。
- 11-5 選出する審判員は、中部地区予選会の審判を含めて、2日間を通じて参加できること。
- 11-6 審判員参加に関わる交通費、昼食は別紙「審判員・スタッフ募集要項」に基づき主催者が負担する。

12 代表者会議

- 12-1 大会開催に先立ち代表者会議を実施するので、チーム代表者は必ず出席すること。なお、やむをえずチーム代表者が出席できない場合は、同チームの参加選手で代表者に準ずる者が出席すること。
- 12-2 代表者会議は、全日本中日本予選と同時開催とする。

13 その他

- 13-1 大会中に大会主催者および大会主催者が認めた者が撮影した写真、映像を、ライフセービングの広報の目的で使用することがある。
- 13-2 大会中に大会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。
- 13-3 大会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、大会への参加や記録が取り消されることがある。

（ 以上 ）